



平成 20 年 10 月 29 日

各 位

会社名 富士通コンポーネント株式会社  
代表者名 代表取締役社長 松村 信威  
(コード番号 6719 東証第 2 部)  
問合せ先 常務取締役 望月 晴夫  
(TEL 03-5449-7000)

当社の親会社 富士通株式会社  
代表者名 代表取締役社長 野副 州旦  
(コード番号 6702 東証、大証、名証、各市場 1 部)

平成 21 年 3 月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 7 月 31 日に公表しました平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 第 2 四半期累計期間の予想の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期 純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	25,600	205	100	120	1,734.36
今回修正予想 (B)	24,837	△94	△245	△266	△3,850.82
増減額 (B - A)	△763	△299	△345	△386	-
増減率	△3.0	-	-	-	-
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 19 年 9 月期)	25,213	909	783	905	13,070.76

(2) 通期の予想の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	52,500	965	800	740	10,695.20
今回修正予想 (B)	47,500	△90	△500	△580	△8,385.51
増減額 (B - A)	△5,000	△1,055	△1,300	△1,320	-
増減率	△9.5	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	51,982	1,962	1,541	2,692	38,889.70

## 2. 個別業績予想の修正

(1) 第2四半期累計期間の予想の修正（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	21,800	△180	90	0	0.00
今回修正予想 (B)	21,542	△324	△240	△299	△4,332.62
増減額 (B - A)	△258	△144	△330	△299	-
増減率	△1.2	-	-	-	-
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成19年9月期)	21,319	330	390	△680	△9,832.06

(2) 通期の予想の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	44,800	230	590	400	5,781.19
今回修正予想 (B)	40,700	△530	△440	△590	△8,530.09
増減額 (B - A)	△4,100	△760	△1,030	△990	-
増減率	△9.2	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	44,709	882	823	658	9,507.89

## 3. 修正の理由

### (1) 連結業績

当第2四半期は米国サブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱や原油・原材料価格の高騰等の影響を受け、設備投資の低迷や急激な円高の進行等によりお客様からの受注が手控えられる状況となりました。

このような状況のなか、入出力デバイスの新規市場開拓や、新製品投入が下期後半から売上高へ寄与するものと予想しておりますが、世界的な需要低迷により売上高は第2四半期、通期とも予想を下回る見込みです。損益面については、原油・原材料価格の高騰に伴う販売価格の値上げや海外製造拠点におけるコスト低減（米ドル安）はありますが、急速な円高の進行や売上高の減少の影響により、上記のとおり前回発表の業績予想値を下回る見込みとなりました。

### (2) 個別業績

海外販売連結子会社からの受取配当金（営業外収益）が予想より増加する見込みではありますが、売上高の減少及び円高による為替差損の発生等により、営業利益及び経常利益とも大幅悪化となる見込みであり、更に、連結子会社である株式会社高見澤電機製作所の株式減損損失を特別損失として、第2四半期に95百万円、通期184百万円の損失を見込んでおり、上記のとおり前回発表の業績予想を下回る見込みとなりました。

なお、株式減損損失につきましては、連結業績には影響ありません。また、前回発表の業績予想に織込済であります。

本見通しの想定為替レートにつきましては、最近の為替推移状況から、1ドル105円（期首105円）、1ユーロ125円（期首165円）に変更しております。

#### 4. 配当予想

##### (1) 優先配当金（第1種優先株式）

	1株当たり配当金
	年間
前回予想（平成20年7月31日）	20,930円00銭
今回修正予想	0円00銭
（ご参考）平成20年3月期実績	20,930円00銭

##### (2) 普通配当金

	1株当たり配当金
	年間
前回予想（平成20年7月31日）	1,000円00銭
今回修正予想	0円00銭
（ご参考）平成19年3月期実績	1,000円00銭

##### (3) 修正の理由

上記業績予想修正のとおり、平成21年3月期業績は、連結・個別とも当期純損失を計上する見込みとなり、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが無配といたしたく存じます。

以上